

令和4年10月21日

第7回京都神経心理懇話会

秋晴れの日が続いておりますが、皆様はご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、今回、第6回京都神経心理懇話会を下記のように企画しました。万障お繰り合わせの上、ふるってご参加下さい。

今回は話題提供ということで5人の先生方から今、興味を持たれているテーマを取り上げていただきました。文献レビューから症例発表と盛りだくさんです。活発なご討議により京都の神経心理シーンを盛り上げていただきたいと思います。

京都失語症症例検討会
神経心理勉強会（武田病院）

記

日時：令和4年11月23日（水・祝） 午前11時から

場所：京都光華女子大慈光館6階太子堂

内容：11：00～「バイ・マルチリンガルは認知症の発症に影響するのか？」
（京都光華女子大学 瀧澤透先生）

13：00～「島の謎」
（康生会武田病院 神経脳血管センター、京都認知症総合センタークリニック 秋口一郎先生）

14：00～「Liepmann から始まる失行」
（京都府立医科大学 医学(系)研究科，京都府リハビリテーション支援センター長 近藤正樹先生）

15：00～「前頭葉について考えてみる」
（京都光華女子大学 上田敬太先生）

16：00～「失読失書＋色彩失名辞と思われる症例」
（京都市地域リハビリテーション推進センター 藤田頼子先生）

司会：関道子先生（京都光華女子大学）

* 参加費：無料（今回、感染対策により飲み物、お菓子の提供はありません）

* 申し込み：不要

以上